

【番組審議会】 7月議事録

第77回番組審議会議事録（平成30年7月26日開催）

1. 開催年月日：平成30年6月26日（木）12：00～13：00
2. 開催場所：エフエムわっかない会議室（稚内市富岡1丁目）
3. 委員の出席：委員総数7名
出席委員数：6名
出席委員の氏名：坂野昌子、森洋子、糺屋義明、斉藤吉弘、山本泰照、中村和一委員、
放送事業者側出席者：加藤由美、杉谷賢俊
4. 議題：番組についての意見交換
5. 議事の概要
杉谷賢俊放送部長より、議題を説明し意見を求めた。
(1) 「防災体制の強化」について

1. 議事の内容

(1) 「防災体制の強化」について

4月9日（月）稚内市生涯学習総合支援センター2階に移転しましたが、3階に市が平成26年に整備した予備送信所とも連動しての運用が可能になりました。また、新たに大型発電機を備えて、停電時、直接、電源盤に差し込むことによって、スムーズに放送継続準備が出来るようになりました。

また、報道の通り防災ラジオが、市民の安全の確保を図るため、コミュニティ放送を活用した「緊急告知防災ラジオ」を全世帯に配備するなどにより、災害発生時における情報伝達体制の強化に多大な貢献、全国の先進事例として評価され「総務大臣表彰」を受けました。6月1日に東京・帝国ホテルで行われた、平成30年度「電波の日・情報通信月間」記念中央式典において、工藤市長が野田聖子総務大臣から直接、表彰を受けました。

*より防災体制が整ったということで、さらに頼れるFMわっぴーになりました。

*高台に移転した事により、万が一の津波にも対応出来るということですね。

*局内に予備送信所を持っている所は中々ないのでは？

*百年記念塔（送信所）がダメになっても、すぐに予備送信所から放送出来るというのはとても安心。

- * 予備送信所にも 100W 送信可能な設備で、臨時災害放送局にも対応している。
- * 市内も一望出来るので、災害時にも情景描写が可能だと思います。
- * 大型の発電機を備えたことにより、停電にも即座に対応出来て安心。
- * 発電機は非常時の際に使用方法等が分からなくては困るので訓練が必要ですね。
- * 燃料も置いておけないので、年に 1 度でも訓練兼ねて野外イベント等で使用しては。
- * 稚内市の防災拠点、防災備蓄倉庫も兼ねた施設ということで、市民にとっては安全安心な施設になりましたね。
- * 防災ラジオが総務大臣表彰を受けたのは素晴らしいですね。
- * 国のお墨付きを頂いたようで、FM わっぴ〜も防災ラジオも価値が上がりましたね。
- * 今後は隣接自治体にも防災ラジオ導入の声が上がるのでは。
- * 全国の先進事例ということで、視察等も増えると思います。わっぴ〜への注目度も高まりますね。
- * 全国で災害が相次いでいるが、ニュース等で避難勧告等の文言が分かりづらいという避難民の声があった。何かにつけて啓発する必要があると思います。
- * これを機会に市民が防災力を高められるような放送を期待します。

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日
特になし

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表方法：自社放送、事務所への備置き、自社ホームページ

公表内容：議事の内容

公表年月日：平成 30 年 8 月 1 日

9. その他参考事項

特になし